

発行：唐津街道むなかた推進協議会
お問い合わせ先：協議会事務局（宗像市役所都市計画課内）
TEL：0940-36-1484 FAX：0940-37-1242
mai：tosikei@city.munakata.fukuoka.jp

「唐津街道むなかた」平成22年度の活動報告



誘導サイン

説明看板

唐津街道赤間宿・原町に案内看板を整備！

平成22年度は、国の交付金事業を活用し、唐津街道赤間宿・原町を訪れる観光客のため、市が説明看板（赤間宿7箇所、原町7箇所）、誘導サイン（赤間宿2箇所、原町2箇所）、灯籠（赤間宿4箇所、原町4箇所）の整備を行いました。唐津街道むなかた推進協議会の委員と市で十分協議を行い、設置箇所、デザイン等を決めました。赤間宿では出光佐三翁生家、節婦阿政（せつぷおまさ）の碑などを、原町ではお大師様、旧南郷村役場（現米倉医院）などを紹介した説明看板を設置しています。春の唐津街道赤間宿・原町を散策してみたいいかがですか。新しい発見ができるかもしれません。

赤間宿まつり

イベント会場では太鼓演奏や踊りなどがまつりを盛り上げ、通りには多くの出店が並び、バルーンアートのコーナーも大賑わい。子どもから大人まで楽しめるお祭りとなりました。また当日は、交流のある前原宿からも出店参加があり、栗まんじゅうや糸島の特産品を販売してもらいました。



九州大道芸まつり

平成22年9月23日（日）原町地区で第14回九州大道芸まつりが開催されました。前日からの大雨で開催が心配されましたが、予定より1時間遅らせて決行しました。プロの大道芸人さんが、北は東京、大阪、京都方面から南は鹿児島、熊本から集結し、多種・多彩な芸を披露し、観客からは度々拍手喝采があがっていました。田園の通り道では、趣向を凝らした案山子（かかし）のコンクールを実施。また、歩行者天国の街道沿いでは様々な店が出店し多くの人で賑わっていました。なお、唐津街道むなかた推進協議会の取組みを紹介するパネルを展示し、多くの来場者に色々な活動を知って頂く機会となりました。最後に紅白のもちまきを行い、盛会のうちに行事を終了することができました。

唐津街道沿いの地域連携が始まっています！

唐津街道サミット開催

「唐津街道サミット」は、約3年前に唐津街道沿線で地域づくりに取り組む方々が、互いの交流や情報交換を目的に始めたものです。今年度は、平成22年7月31日、福岡市早良区の西新地区にて、第3回唐津街道サミットを開催しました。当日は各宿場や門前町から33名の方が集まり、「唐津街道の歴史」の勉強会や「街道でつながる地域の将来像」と題して活発な議論がなされ、「各地域のお祭りや唐津街道の産品を販売する」など面白いアイデアが出されました。また、平成23年3月12日には、福岡市西区の姪浜宿にて、第4回が開催されました。当日は24名の方が集まり、「元氣！姪浜計画」の紹介、版画家二川秀臣氏の作品紹介、「食」をテーマに街道でできることのテーマで活発に議論されました。



唐津街道ブース出店



唐津街道サミットでのアイデアを実現するため、平成22年10月3日、福岡市早良区の「西新・中西・高取勝鷹まつり」に合わせて、唐津街道PR・産品販売を目的としたブースで出店しました。唐津街道沿線地域のパンフレットの展示・配布とともに、赤間宿からは地酒・よもぎ青汁、前原宿からは栗まんじゅうや糸島の雑貨、姪浜宿からは味噌メロンパンなど、各地域の特産品の魅力を多くの方に伝える機会となりました。お客様からは「唐津街道サミットを初めて知った」や「産品が大変美味しかった」などの感想を頂き、出店側からも「初めての取り組みで良い経験になった」という感想を得ることができました。

歩く唐津街道の旅2010

初秋のウォーキングに最適な天気となった9月26日、唐津街道前原宿から22名（内女性2名）が古賀の青柳を10時過ぎに出発し、原町から赤間宿の行程で「歩く唐津街道の旅2010」を行いました。商工観光課の職員2名が随行し、原町には14時半頃到着。唐津街道南郷協議会の方15名がお出迎えし、街なみの案内、時安会長の自家製の「ところてん」でおもてなしをしました。30分後、赤間にむけて出発。赤間には4時過ぎに到着し、赤間地区コミュニティ運営協議会の地域づくり部会伊達会長、ボランティアガイド（伊豆さん、出光さん、白木さん、中村さん）で案内しました。特に勝屋酒造では大勢の方がお酒を購入されていました。街なみ散策後、17時過ぎに教育大前からお見送りをしました。



「ちよつとよしみち唐津街道むなかた」のホームページをご紹介します！
唐津街道赤間宿及び原町の地域情報や協議会の活動状況がわかるホームページです。
アドレスはこちら
<http://yorimichi.wawawa.org/>

「むなかた景観写真コンテスト」の作品を募集しています！
作品募集
期間：平成23年10月3日～31日
対象：平成21年4月1日以降に市内で撮影されたもの
赤間や原町の写真を応募してみませんか？

地域の方のおもてなしに感動！～大切なのは地域の力の結集！～



すると、なんと募集当日で定員に達する人気ぶり。女性にとつて赤間宿の魅力、歴史への関心の高さを実感した瞬間でした。

その間、歴史講座講師の出光さん、伊豆さんは練習を重ね、互いに話し方のチェックを行ったほか、まち歩きが時間通り進行できるか試し歩きも行いました。その成果があつて、当日はスムーズな運営ができ、赤間宿の深い魅力に気づいてもらうことができました。

さらに、的場さんのご協力などにより、歩き終えた参加者におぜんざいとお漬物の提供を行い、心のこもったおもてなしに感動される参加者が多くいらっしゃいました。

ガイドさんの声にもあるように、あらためて「地域の皆さんの力を結集すること」の大切さに気づいたモニターツアーでした。

参加されたお客様の声

- ・「初めての赤間宿訪問でしたが、歴史の説明が勉強になりました。真心のこもったおもてなし、ありがとうございました」
 - ・「赤間というところをもう少し知りたいと思い参加させていただきましたが、こんなに歴史があるところとは知りませんでした」
- など、おもてなしへの感謝や赤間の歴史をあらためて感じ、大変満足していただけた様子でした。

受入ガイドさんの声

- ・「観光ツアーとしての輝きはまだまだだと思いますが、地域の皆さんの力が一番大切であると痛感しました。地道に小さなツアーを組んで、口コミで赤間宿の良さが広まればいいと思います」
 - ・「自分だったらぜひ参加してみたいプログラムだったと思います」
- などの意見があり、おもてなしを行うガイド側の目線でモニターツアーの感想を述べてくれました。



女性を対象にした「赤間宿モニターツアー」が実現しました。

昨年、ワークショップで出たアイデアがカタチに！

平成22年11月7日、秋晴れの澄んだ空の下、赤間宿に1台の観光バスがやってきました。満員のバスから降りる女性ひとりひとりに、「赤間宿によつこそ」と丁寧な声をかけるガイドさん。長い準備を経てモニターツアーがようやく実現しました。

この「赤間宿モニターツアー」実施のきっかけとなったのは、約1年前に開催した「赤間宿散策ルートワークショップ」。その会議の中で、「赤間に女性を呼んだら華やかになるのでは」の意見が出て、「和服姿の女性一人旅」をテーマにしたツアープランが提案されました。

ツアー当日を迎えるまで、数多くの話し合いと試行錯誤の準備が重ねられました。企画を行う唐津街道むなかた推進協議会を中心に、赤間宿ボランティアガイドさんや赤間区にお住まいの方、街道沿いのお店の方のご協力を得て、まずツアーのコースを作成。

次に、募集・主催について西日本リビング新聞社の協力を得て、福岡都市圏に配布される「リビング福岡」の紙面で募集を行いました。

(左に続く)

地域の多くの方のご協力で実現！

ご協力いただいた方々

赤間宿ボランティアガイド、赤間地区地域づくり部会、赤間地区コミュニティセンター、赤間区住民・商店有志(的場さん、萩尾さん、いやしろ空さん、勝屋酒造さん、山下こんにやく店さん、ダイニング庫裡さん、榎屋さん、grin timeさん、家具桐吉さん、梅田さん、神山さん)



当日の行程表

8:30	天神発(途中休憩)
10:00	赤間着
10:00~11:00	萩尾邸(抹茶サービス)~いやしろ空(買物)
11:00~12:00	赤間歴史講座/ボランティアガイド(出光佐三郎)
12:00~13:30	ダイニング庫裡(昼食)
13:30~15:30	「赤間宿ガイド付まちあるき」 ダイニング庫裡~山下こんにやく店(試食買物) ~勝屋酒造(試飲買物)~榎屋(見学解説) ~出光佐三郎~grin time(買物)~五脚西遷の碑(解説)~熊越池公園(ぜんざい・お見送り)
15:30~16:00	おばあちゃんのお宅でバラのお庭見学
16:00	赤間発(途中休憩・買物)
17:30	天神着



第1回ミーティング (平成22年10月19日14時~)

【協議事項】 掲載記事および募集状況の報告、各自やることの確認、歴史講座の企画について、まち歩きガイドについて、参加者へのおもてなしについて



第2回ミーティング (平成22年10月26日14時~)

【協議事項】 コースどおりに試験的にまち歩きある歩きのコースと時間配分の決定、歴史講座のテーマと内容の決定



第3回ミーティング (平成22年11月2日13時~)

【協議事項】 歴史講座の試験開催(感想、アドバイス) 当日までに各自やることの確認 おもてなしの準備と分担について



準備・練習を重ねモニターツアー当日を迎えました！

唐津街道の歴史紹介

古美術 楽市楽座

まちの玄関、原町の交差点から坂道を百メートル余のぼると、道の両側で対の形式となっている板塀、庭の大木そして白壁の蔵が見えてきます。この両家は元々造り酒屋の御宅で、今は右側がおそば屋さん、そして左側が今回紹介する『古美術 楽市楽座』、それぞれ古民家を活かしたお店が営まれています。

『古美術 楽市楽座』は、古美術・骨董店ですが、その特徴はともセンスがいいこと！良く手入れされた庭を左手に、のれんをくくつて玄関に入ると、そこには続き間座敷にずらりと展示された、懐かしい魅力的な品々が！食器や雑貨の他に、ランプや柱時計などインテリア関連の商品が充実しており、昔の建具なども取り扱っています。

お洒落な店主・真武喜久さんは、古美術だけでなく、デザインや芸術にも造詣が深い人。約築100年の町屋を工夫した素晴らしい空間づくりをされており、時間を積み重ねてきた物うまく活用することの価値や楽しさを教えられるお店です。

